

ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイの分布状況調査報告

- ・日時/2020年6月30日（火） 10時15分～12時40分
- ・場所/手賀沼 我孫子新田地先～大堀川河口～花火台船～北千葉導水第二機場地先～水の館地先
- ・参加者/滋賀県琵琶湖環境部：中井克樹氏、県立中央博：林紀男氏、
千葉県水質保全課：小田上孝行氏、いであ株式会社：高橋栞氏
美手連6名
- ・船（みずすまし号）の運行/古川船長、生馬補助員（アルバトロスヨットクラブ）
- ・報告/小倉久子

※この調査は手賀沼流域フォーラム調査事業の一環として、外来水生植物試験駆除（ハーベスター）視察と同日に行ったものです。

<調査地点>



① 漁協棧橋

ナガエツルノゲイトウ（ナガエ）とオオバナミズキンバイ（オオバナ）が共存しているが、少しずつオオバナが増えているようだ。



② 寿司屋地先（我孫子新田西側）



③ オオバナの花盛り！（根戸新田地先）



④ オオバナの葉っぱが好きなキタカミナリハムシ



ナガエの虫食いの現行犯はまだ押さえられず。



⑤ 根戸新田地先



じわじわと沖に進出。中央の黄色っぽい部分はナガエ。この時期にナガエ群落は、特に先端部分が、黄色っぽいことが多い。



⑥ 花火台船 オオバナがのし上がってきている。



⑦ オオバナの種子 オオバナは種子でも増えると言われている。この小さい一粒が全部発芽したら・・・



この1本に、少なくとも5つの種子。まだ蕾もあります。



⑧ 北千葉導水第二機場前



⑨ 第二機場の東側



遠くからの見た目は、オオバナの黄色い花が目立つ。水際近くの縁辺部は、ナガエなのか、オオバナの若い茎なのか。緑色が濃いのので、後者かもしれない。

沼の南岸（柏市側）も、水際線はすっかりナガエ・オオバナにおおわれている

⑩ 鳥の博物館地先

陸から水面に向かって、ヨシ帯⇒マコモ帯⇒（ナガエ・）オオバナ帯 と、しっかり「地位」を確保。



⑪ 水の館前のヒメガマ帯が消えた！



いまはポツン、ポツンと、ひと株ふた株
残っているだけのヒメガマ。
どこに行った？ どうして消えた？